

## 会 議 録

### 1 会議名

令和4年度 第1回津有区地域協議会

### 2 議題（公開・非公開の別）

#### (1) 報告事項（公開）

・令和4年度地域活動支援事業提案状況について

#### (2) 自主的審議事項（公開）

・津有区の特長を生かした地域活性化策について

### 3 開催日時

令和4年4月25日（月）午後6時30分から午後7時45分まで

### 4 開催場所

津有地区公民館 大会議室

### 5 傍聴人の数

2人

### 6 非公開の理由

なし

### 7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委員：大滝英夫、千代金治、相馬祐一、田中博三（副会長）、中島 功、  
藤本孝昭（会長）、古川勝夫、古川 仁（欠席3名）

・事務局：中部まちづくりセンター 小林センター長、藤井係長、山崎主事

### 8 発言の内容（要旨）

#### 【山崎主事】

・会議の開会を宣言

・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により、会長が議長を務めることを報告

#### 【藤本会長】

・会議録の確認者：古川 勝夫委員

次第2 議題「(1) 報告事項」の「令和4年度地域活動支援事業提案状況について」に入る。

事務局より説明を求める。

【山崎主事】

・資料1・2・3に基づき説明

【藤本会長】

今ほどの説明について、質問を求める。

(発言なし)

以上で次第2 議題「(1) 報告事項」の「令和4年度地域活動支援事業提案状況について」を終了する。

次に、次第2 議題「(2) 自主的審議事項」の「津有区の特長を生かした地域活性化策について」に入る。

事務局より説明を求める。

【山崎主事】

・資料4に基づき説明

【藤本会長】

今ほどの説明について、質問を求める。

(発言なし)

私からいくつか情報提供をする。

献碑祭実行委員会から、献碑祭100周年を記念して、前島密翁のパンフレットを作成するという連絡があった。これは、小学生から前島密を知らない人向けに作成したいということで、私たちが考えていたものと似ている一面がある。

実はその中で、地域協議会に対して寄稿依頼があったため、この件の事務局の前島記念館の利根川館長にも確認しながら、提出した。

また、大潟区で少しユニークなパンフレットがあったため、紹介する。これは令和3年度地域活動支援事業によって作成したものである。

以前には三郷区のパンフレットも配布したが、これらも私たちがこれから構想していくときの、一つのモデルとして利用できるかと思っている。

さらに4月20日には、区内3校の校長先生にご挨拶に伺ってきた。これも報告する。

昨年度に一度各学校を訪問して、地域協議会の活動についてお話してきたところで

あったが、今回の人事異動で、戸野目小・上雲寺・雄志中のすべての校長先生が新任である。

そのため、今回は私と小林センター長の2人で各校を訪問し、地域協議会の活動や自主的審議の内容、具体的に、これからはリーフレットを作ることや、献碑祭にも協力していくことなど、これまでの経緯についてお話してきた。

そして、前回会議で提案したスケジュールに基づき、今度は委員の皆も入って、小中学校の先生方と意見交換できたらと思っている。学校の先生方は私たちにどんなことを求められるのか、私たちは学校に対してこんなことを求めているんだということも含めた、ちょっとした意見交換ができたらよいと思っている。

まだ具体的なものは決まっていないが、そんなことを考えていると伝えてきた。

そして、10月には児童生徒とのワークショップということで、できたら児童生徒に、前島密についてどんなイメージを持っているのか、どんなことを知りたいか聞いてみたり、或いは、前島密の人となりをこちらから説明してあげる。

それがコロナで難しい場合には、例えばアンケートのような形も考えなければいけないと思う。

さらに、できれば私たちが作る予定のリーフレットを、ぜひ、各学校で活用していただき、地域の偉人である前島密に関する学習や地域のよさに関わる学習につなげていただけたらという話もしてきた。

どの学校からも、非常に好意的に受けとめていただき、どちらかという、総合的な学習の時間の中でうまくリンクできるのではないかと、力強い言葉をいただいた。

そういうことも含めて、今度献碑祭でどんなパンフレットができ上がるか楽しみにしているところであるが、これらも参考にしながら、全体構想を考えていけたらよいと思っている。

リーフレットだけではなくて、例えば今の時代、デジタルという方法もあるし、逆にその辺について、委員で知恵を出していけたらよいと考えているところである。

ということで、そんな形で今、少しずつ動き始めているという状況である。

#### 【小林センター長】

- ・補足説明

#### 【藤本会長】

古川 仁委員から順番に、意見や感想等を求める。

### 【古川 仁委員】

まず、スケジュールが結構きつuitと感じた。

また、前の資料を見ると、津有区でも前に似たようなものを作っているのではないかと思った。

資料のスケジュールについては、小中学生との意見交換や町内会長代表協議など、そこで意見を聞いてから全体構想を考えるのか。それで間に合うのか。

### 【小林センター長】

それについてはやり方があると思う。

よくやるやり方で、先に意見交換で意見を吸い上げてから集約していく方法と、事前にある程度仮説のようなものを作って、それをもとに意見をぶつけてもらう方法がある。

時間的な猶予の問題もあるが、今ここで全体構想を考えましょうと言っても、なかなか具体的には出てこないと思う。そのため、まずは意見を吸い上げるところからやってみようということである。

それと、以前に津有区でパンフレット等を作っていたとしても、その内容がどこまで皆さんに知られているのか、そこは少し疑問の部分がある。

今後、皆さんにずっと使っていただけるパンフレットをどのようにしたらよいか、委員会の中で検討を進めていけたらよいと考えている。

スケジュールに関しては、委員に負担を掛けないように調節していきたいと思っているので、ご意見をいただきたい。

### 【古川 勝夫委員】

今事務局から説明していただいたとおり、まず土台を作って、以前の資料も活用しながら、作成していけばよいと思う。

この準備作業は大変だと思うが、皆さんで協力していきたい。

### 【中島委員】

まず、いろいろな資料をとにかく集めるというのが必要になると思う。

顕彰する会が作った冊子はすごくよく作られていて、大したものである。これをやろうと思うと、非常に難しい。

それと、小中学校との意見交換やワークショップをやる際は、予めこちらの方針を決めておいて、意見を何う形にしないと、話にならないと思う。

### 【藤本会長】

献碑祭実行委員会のパンフレットについては、配布対象は津有区ではないという話であった。要するに、前島記念館を訪れた方や、献碑祭の参加者に渡すと言っていた。配る対象が、私たちとは違っているということを確認している。

もう一つ、私たちのリーフレットを作るときに、献碑祭のパンフレットを活用させてもらうことも一応了解を得ているので、そういう意味合いで、同じようなものを作るが、目的が少し違っている。そのあたりで、差別化できていると思っている。

おっしゃるとおり、難儀な仕事になることは間違いないが、でも、何か物を作るといふ楽しさはあると思う。

### 【相馬委員】

小中学校との意見交換では、皆さんがどれだけ前島密を知っているかを聞き、そこから話し合っていくのはよいと思う。

忙しくなると思うが、小学生から前島密を知らない人に向けて、興味を持ってもらえるようなものを作りたいと思う。

### 【千代委員】

前島密に特化したリーフレットを作るとなると、専門家ではないので、自分たちには難しすぎると思う。

### 【藤本会長】

先ほどセンター長からも説明があったが、献碑祭の方で作られるパンフレットと同じものを作るわけにいかないし、尚且つそれより、よりよいものを作るわけにいかないで、私は一つの逃げ道として、前島密に特化しながらも、津有区全体を網羅する内容にするのも一つの考えかと思っている。

その辺りは、まさにこの準備委員会で検討することであって、柔軟に考えていけたらよいと思う。

### 【千代委員】

特に学校で使ってもらうとなると、大人向けの言葉ではなくて、なるべく易しいものにしたいと思う。

### 【大滝委員】

あまりこういうことは得意ではないが、例えば、前島密の小学生の認知度を確認することもよいと思う。

以前の研修会で、前島記念館の利根川館長から講演をしていただいたが、あの方だからあのような講演ができるのであって、もし館長が変わったら、引き継げる人はあまりいないと思う。

何を言いたいかという、あのような貴重な講演を、例えば動画等で残していけば、学校でも、皆さんが同じように理解できるのではないかと、自分なりに考えた。

そういうこともあるので、いかに簡単に分かりやすくということが大事で、あまり深く追求し過ぎても、おそらく理解できないと思う。

あと、地域活性化の観点から、前島密だけに特化するのではなく、津有区の歴史的なものや魅力などを取り入れることもよいと思う。何か地域のために一つでも役に立てるように、進めていけたらよいと思っている。

#### 【藤本会長】

先ほどから話しているが、前島密だけに特化しすぎると専門書になってくるので、そうではない部分でということである。

例えば、雄志中学校には前島密の銅像があって、写真とともに紹介すれば、津有区の人たちは雄志中学校に行ったときに見に行く。そのほか戸野目小学校には体育館に書と肖像画が飾ってあり、そういうことを組み込んでいけば、少し質の違うものができると思う。ついでに、近くには保阪邸があるというようなトピックを入れれば、また違ったものになる。

その辺について、これから知恵を出して検討していきたい。

#### 【田中副会長】

今私はいろいろな地区のパンフレットを集めている。

それらの主な内容は、地域めぐり、名所めぐり、観光などである。

今回、前島密を中心としたリーフレットを作ろうといったときに、その内容をどうするか。どういう配分にするかが大きな問題になってくる。

地域づくり、元気づくりのための内容を主とするのか、前島密の業績の内容を主とするのか、上越市内を含めた、観光地図のような内容にするのか。このバランスが争点になると思う。

こういうことを詰めていかないと、リーフレットのサイズに収まらず、小分冊の厚さになってしまうと思う。これから考えていきたい。

#### 【藤本会長】

様々ご意見をいただきましたが、総論的に、本日事務局から説明いただいた、リーフレット作成準備委員会の実施計画案について、賛同いただけるか。

(よしの声)

以上で次第2 議題「(2) 自主的審議事項」の「津有区の特長を生かした地域活性化策について」を終了する。

次に次第2 議題「(3) その他」に入る。

- ・4月3日の総務常任委員会との意見交換会について報告  
他に何かあるか。

(発言なし)

最後に次第3「その他」の「(1) 次回開催日の確認等」に入る。

次回の協議会日時：5月30日(月) 午後6時30分から

会場：津有地区公民館 大会議室

内容：地域活動支援事業のヒアリング

その他、何かあるか。

(発言なし)

- ・会議の閉会を宣言

## 9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 中部まちづくりセンター

TEL：025-526-1690 (直通)

E-mail：chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

## 10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。